脳・神経センター・リハビリテーションセンター

# 長崎北病院 伝言板 8月号

令和7年8月1日発行

8月。外に出ると焦げそう。陽に当たるとジリジリ。熱い。北海道でなんと40度。冬の大雪や熊の被害で大変なところに灼熱40度。エアコンがない家庭が多いそうでかわいそうです。先日のカムチャツカ地震の津波警報でビルの屋上に避難した人々。津波被害より熱中症にならないか心配でした。全国灼熱地獄の中では長崎はまだ良い方。しかし、このままでは水不足、田んぼの稲も心配。
一雨降って涼しくなってほしい。雨乞いしましょう。

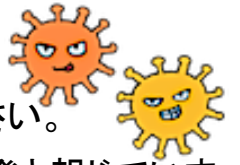


## コロナ再び・マダニもいるよ

酷暑。戸外で働く方にとっては過酷。仕事中にフラフラになって受診される方もおられます。しかし、思ったより少ない感じがします。おそらく、あまりの暑さに家から出ないのではないでしょうか。もちろん家の中でも熱中症、脱水などは起こりますが、エアコンの効いた室内にいれば熱中症の危険は減ります。家から出なければ、熱中症だけでなく感染症や怪我なども少なくなります。この危険な暑さの時期は家の中でエアコンが正解でしょう。しかし皆さん運動不足へ一直線。朝涼しいうちに散歩や家の中で屈伸、筋トレ、家事、体操など身体を動かしましょう。



この暑さの中で、着々と勢力拡大しているのがコロナです。最近のコロナは1年に2回、夏と冬に流行の波があります。届出の義務や、統計もなく、クラスターという言葉も死語となりました。かかっても病院を受診しない人も多く、検査も減っています。その油断を突いても皆さんが気づかないうちに夏の波が静かに広がっています。 発熱や咽頭痛などがはっきりしていればわかりやすいのですが、足が弱った、食事が食べれないなどで受診される方にコロナが結構おられます。病院も以前のように入院時にコロナの検査をしない所が多く、あちこちの病院で大人数の院内感染（いわゆるクラスター）が発生しています。皆さんの周囲に結構コロナがいるという認識を持った方が良いと思います。若者には風邪程度ですが高齢者や弱者は亡くなったり、重症化し立ち直れなくなることもあります。コロナ禍再びです。
感染に対する警戒、対応レベルを引き上げてください。



テレビでなどは今年は「スズメバチ」の活動が活発と報じています。梅雨が短く、雨の日が少なく、休まずに毎日餌取り、子育てができるので増えているのだそうです。スズメバチに刺されると大ごと。しかし、もっとヤバイ奴が今年は暗躍しています。

先日もお話しした「マダニ」が媒介する「SFTS:重症熱性血小板減少症候群）です。ウィルスによって起こり、高熱、頭痛、腹痛さらに重症化すると意識障害もおこし致死率2−3割と危険な感染症です。元々、九州・西日本中心に患者が出ていましたが、温暖化のためか年々東日本へ、さらに北上。石川県、千葉県でも報告されています。広がるだけでなく数も増えています。これまで最高だった昨年を超える勢いです。さらに 心配なのが感染場所です。これまで、山や藪、草むらなどに入るときは「長靴、長袖、長ズボン、虫除け」と言われてきました。 ところが、今年当院で経験した2例ではそのような場所には行ってはいません。庭や家の周囲で畑、花の手入れをした程度です。もちろん、長崎ですから、山に近かったり周囲に草むらはありますが、藪に入ったわけではありません。庭で「マダニ」に噛まれて感染したようです。
マダニが私たちの近くまで進出してきています。
マダニを持った野生動物が近くまで来ているのか、最近はイヌ、猫が感染していることがあるのでそれからのマダニかもしれません。いずれにせよ私たちが思うよりマダニ・SFTSは近くに忍び寄っています。庭や畑の手入れ程度でも 長靴、長袖、長ズボン、虫除け。家に入るときは衣服を払って、マダニが脚などに付いていないか確認を。危険なウィルスが身近。気をつけるに越したことはありません。（A.S.）



